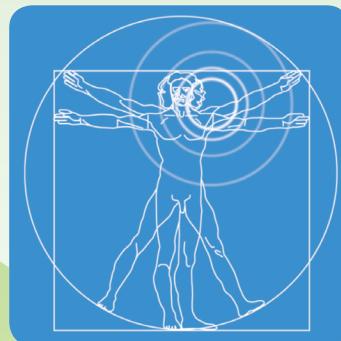
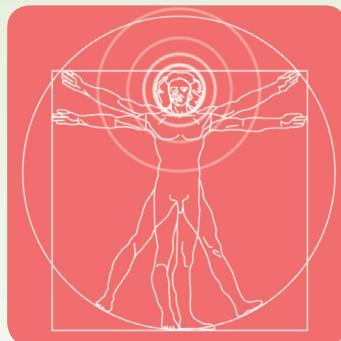


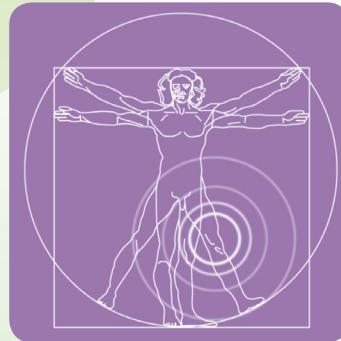
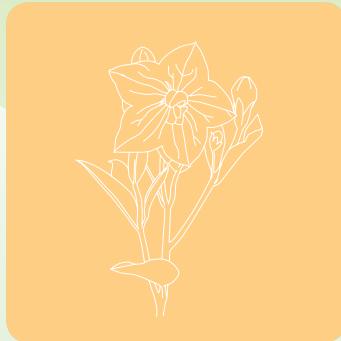
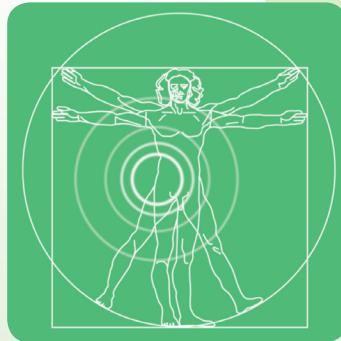
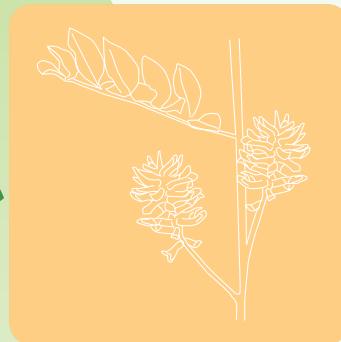
# 第27回 日本疼痛漢方研究会 学術集会

テーマ

## 高齢者の痛みと漢方



## プログラム



日 時

場 所

会 長

2014年7月5日(土) 東京コンファレンスセンター・品川  
9:00 ~ 18:00

東京都港区港南1-9-36 アレア品川

古家 仁

奈良県立医科大学附属病院

共催：日本疼痛漢方研究会 /  株式会社ツムラ

日本疼痛漢方研究会ホームページ：  
<http://www.k-kenkyukai.com/toutsu/>

# ご案内

## 1. 会場案内

東京コンファレンスセンター・品川

【A会場】5階『大ホール』

【B会場】4階『Conference Room 406』

## 2. 参加受付

【受付場所】5階「大ホール」(A会場)前ホワイエに受付を設置しています。

【参加費】会員：2,000円 非会員：5,000円 当日入会可(当日、受付にて頂戴いたします)  
学部生：無料

5階受付にクローケはございません。3階メインクローケをご利用ください。

## 3. 座長の先生方へ

ご担当のセッション開始予定時刻の15分前までに受付をお済ませください。

演題多数のため時間調整にご配慮いただきながら、活発な討議の誘導をお願い致します。

## 4. 演者の先生方へ

発表はすべて口演形式です。

### 《発表時間》

1) 一般 講演：発表 7分 質疑3分

2) 優秀賞ノミネート講演：発表 7分 質疑3分

3) ワークショップ：発表12分 質疑3分

### 《発表方法・発表データ》

#### 発表方法について

・ご発表はパワーポイントによるデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)にてお願い致します。

#### 発表データ及びパソコン持込受付場所

・各発表セッション開始の30分前までに『PC受付(5階A会場前ホワイエ)』にて受付および動作確認を行ってください。

#### 持込データについて

・お持込み頂く発表データは、『USBフラッシュメモリーまたはCD-Rのメディアお持込み』もしくは『ご自身のパソコンお持込み』のいずれかでお願いします。

・メディアをお持込みの方は、Windows PowerPoint 2003、2007、2010、2013で作成されたデータのみと致します。

他のパワーポイントのバージョンでご発表される先生は、パソコンのお持込みにご協力ください。

・ご発表内容に動画、音声を使用される方、もしくは、Macintoshを使用される方は、必ずご自身のパソコンをお持込みください。

### 《諸注意》

・パソコンを持ち込まれる方は、必ずACアダプターを各自持参してください。

・ファイル名は「演題番号演者名.ppt」としてください。

・接続はD-sub15ピン3列のコネクター(通常の外部モニター出力端子)となります。

パソコンの外部モニター出力端子の形状を必ず事前に確認し、必要な場合は接続端子を持参してください。

# ●学術集会スケジュール●

A会場(5階「大ホール」)		B会場(4階「406」)
開会の挨拶	9:00	
一般講演 1 《四肢・体幹部の痛み》	9:05	
一般講演 2 《高齢者の痛み1》	10:05	
休憩(5分)	11:05	
ワークショップ 【高齢者の痛みに対する漢方治療】	11:10	
昼食	12:10	
総会	13:00	
教育講演	13:15	
優秀賞ノミネート講演	13:45	
休憩(15分)	14:45	
特別講演	15:00	
休憩(5分)	15:50	
一般講演 5 《高齢者の痛み2》	15:55	
一般講演 6 《体幹部・各種の痛み》	16:45	
優秀賞表彰式	17:45	
閉会の挨拶	17:55	
	18:00	
		9:05
		10:05
		10:55
		15:55
		16:45

# 「第27回日本疼痛漢方研究会学術集会 プログラム」

開会の挨拶

(9:00 ~ 9:05)

会長：古家 仁（奈良県立医科大学附属病院）

A会場 一般講演1《四肢・体幹部の痛み》

(9:05 ~ 10:05)

座長：青山 幸生（東邦大学医療センター大橋病院 麻酔科）

A-1) 手掌紅班を伴った手指腱鞘炎に対して漢方薬が奏効した1例

順天堂大学 漢方医学先端臨床センター<sup>1)</sup>、千葉大学医学部附属病院 和漢診療科<sup>2)</sup>

千葉大学大学院医学研究院 和漢診療学<sup>3)</sup>

韓 哲舜<sup>1)</sup>、岡本 英輝<sup>3)</sup>、植田 圭吾<sup>3)</sup>、平崎 能郎<sup>3)</sup>、八木 明男<sup>2)</sup>、並木 隆雄<sup>3)</sup>

A-2) 関節リウマチと鑑別を要する手指こわばりの2症例

みやにし整形外科リウマチ科 宮西 圭太

A-3) 強皮症に伴うレイノー症状に対して漢方外用薬が効果的であった1症例

佐賀大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科

濱田 献、富田 由紀子、平川 奈緒美

A-4) 右上肢の急性期 complex regional pain syndrome に対して芍薬甘草湯と

当帰四逆加吳茱萸生姜湯が有効であった一例

福島県立医科大学 麻酔科学講座

中川 雅之、大石 理恵子、當重 一也、中野 裕子、佐藤 薫、村川 雅洋

A-5) 膀胱炎に伴って発症した下半身痛に桂麻各半湯が有用であった1症例

平田ペインクリニック 平田 道彦

A-6) 視神経脊髄炎関連疾患 (NMO spectrum disorders) のしびれに対して

牛車腎気丸合大建中湯が奏効した1例

平塚共済病院 神経内科<sup>1)</sup>、小菅医院・横浜朱雀漢方医学センター<sup>2)</sup>

中江 啓晴<sup>1)</sup>、熊谷 由紀絵<sup>2)</sup>、小菅 孝明<sup>2)</sup>

A会場 一般講演2《高齢者の痛み1》

(10:05 ~ 11:05)

座長：平田 道彦（平田ペインクリニック）

A-7) 高齢者の30年来の頭痛に対し三黃瀉心湯が奏功した1症例

特定医療法人 祐愛会織田病院 麻酔科 中平 圭

A-8) 男性高齢者の舌痛症に対して補腎剤（八味地黄丸）が奏功した2症例

大阪大学大学院歯学研究科 頸口腔病因病態制御学講座 口腔外科学第二教室<sup>1)</sup>、阪南市民病院 歯科口腔外科<sup>2)</sup>

松本 章子<sup>1)</sup>、樹井 敦史<sup>1)</sup>、森田 祥弘<sup>2)</sup>、由良 義明<sup>1)</sup>

A-9) 漢方薬による薬物療法が有効であった高齢者口腔顎顔面神経障害性疼痛症例の検討

奈良県立医科大学 口腔外科学講座

川上 哲司、今井 裕一郎、青木 久美子、山本 育功美、東浦 正也、桐田 忠昭

A-10) 高齢者の腰痛に対する疎経活血湯と十全大補湯の有用性

順天堂大学医学部付属順天堂東京江東高齢者医療センター 麻酔科学・ペインクリニック講座

光畠 裕正、松本 園子、原 厚子、飯田 史絵、菅澤 佑介、榎本 達也

今井 美奈、小西 るり子、松岡 芙美、酒井 大輔、中村 かんな

A-11) 椎体圧迫骨折に対する東洋医学的治療

北九州市立門司病院 ペインクリニック・東洋医学科 緒方 政則

A-12) 東洋医学的からみた帯状疱疹後神経痛の治療の試み

富士クリニック

藤田 周一郎、藤田 素行

休憩

(11:05 ~ 11:10)

B会場 一般講演3 《口腔顔面痛》

(9:05 ~ 10:05)

座長：嶋田 昌彦（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 疼痛制御学分野）

B-1) 筋・筋膜性歯痛が葛根湯による頸部筋痛緩和で改善した2症例

大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座口腔科学専攻 歯科麻酔学教室<sup>1)</sup>

大阪大学歯学部附属病院 歯科麻酔科<sup>2)</sup>

朴 曾士<sup>1).2)</sup>、杉村 光隆<sup>1).2)</sup>、花本 博<sup>1).2)</sup>、吉田 好紀<sup>2)</sup>、大山口 藍子<sup>2)</sup>、丹羽 均<sup>1).2)</sup>

B-2) 舌痛症に対する立効散の効果

北海道大学大学院歯学研究科 口腔診断内科学教室<sup>1)</sup>、北海道大学大学院歯学研究科 高齢者歯科学教室<sup>2)</sup>

坂田 健一郎<sup>1)</sup>、山崎 裕<sup>2)</sup>、大賀 則孝<sup>1)</sup>、佐藤 淳<sup>1)</sup>、中澤 誠多朗<sup>2)</sup>、北川 善政<sup>1)</sup>

B-3) 薬物性歯肉増殖症に対する漢方薬の有効性

大阪歯科大学 歯科医学教育開発室<sup>1)</sup>、原山歯科医院<sup>2)</sup>、王医院内科<sup>3)</sup>

王 宝禮<sup>1)</sup>、益野 一哉<sup>1)</sup>、原山 周一郎<sup>2)</sup>、王 龍三<sup>3)</sup>

B-4) 顎顔面に発生した気滞性ならびに瘀血性疼痛の2症例

トヨタ記念病院 歯科口腔外科

牧野 真也、町田 純一郎、阿部 友亮、安井 敬祐、来川 歩未

B-5) 三叉神経痛の口腔内の痛みに対して、立効散を主剤とした漢方薬が奏効した1症例

東京医科歯科大学歯学部附属病院 ペインクリニック<sup>1)</sup>

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 疼痛制御学分野<sup>2)</sup>

富澤 大佑<sup>1)</sup>、山崎 陽子<sup>1)</sup>、新美 知子<sup>1)</sup>、安藤 祐子<sup>1)</sup>、井村 純子<sup>2)</sup>

細田 明利<sup>2)</sup>、嶋田 昌彦<sup>1).2)</sup>

B-6) 三叉神経痛と口腔内の痛みに立効散と五苓散が奏効した一例

神奈川歯科大学 麻酔科学講座

今泉 うの、別部 智司、吉田 和市

B会場 一般講演4 《各種の痛み》

(10:05 ~ 10:55)

座長：林 明宗（神奈川県立がんセンター 漢方サポートセンター）

B-7) 妊孕力を高めることを目的として受診され長年の月経痛、頭痛、肩こり、腹痛、凍瘡が改善した1例

名古屋大学医学部附属病院 総合診療科

木村 卓二、胡 晓晨、佐藤 寿一、伴 信太郎

B-8) マイコプラズマ感染症後に発症した線維筋痛症に漢方薬が有効であった1例

金沢医科大学 総合内科学<sup>1)</sup>、福井県済生会病院 麻酔科<sup>2)</sup>、金沢医科大学 腫瘍内科学<sup>3)</sup>

守屋 純二<sup>1)</sup>、山川 淳一<sup>1)</sup>、竹内 健二<sup>2)</sup>、元雄 良治<sup>3)</sup>、小林 淳二<sup>1)</sup>

B-9) 痛みに対するブシ末の使用経験

岐阜県総合医療センター 産婦人科<sup>1)</sup>、同 漢方外来<sup>2)</sup>

佐藤 泰昌<sup>1).2)</sup>、村瀬 紗姫<sup>1)</sup>、上田 陽子<sup>1)</sup>、山本 志緒理<sup>1)</sup>、田上 慶子<sup>1)</sup>

桑原 和男<sup>1)</sup>、横山 康宏<sup>1)</sup>、山田 新尚<sup>1)</sup>

B-10) 集中治療における芍薬甘草湯の使用経験

弘前大学医学部附属病院 集中治療部、麻酔科学教室

坪 敏仁、斎藤 淳一、橋場 英二、大川 浩文、廣田 和美

B-11) 疼痛性疾患に対する四逆散の使用経験

能代山本医師会病院 整形外科 相澤 治孝

A会場 ワークショップ【高齢者の痛みに対する漢方治療】

(11:10 ~ 12:10)

座長：齊藤 洋司（島根大学医学部 麻酔科学）

W-1) 高齢者の頭痛診療のポイント

あきば伝統医学クリニック、千葉中央メディカルセンター 脳神経外科 來村 昌紀

W-2) 高齢者の口腔顔面痛に対する漢方療法について

鹿児島大学病院 口腔顎顔面センター 口腔外科/漢方診療センター 山口 孝二郎

W-3) 高齢者の運動器痛に対する漢方治療

ヤマトペインクリニック 山上 裕章

W-4) 在宅緩和ケアにおける漢方治療の役割

要町病院、要町ホームケアクリニック 吉澤 明孝

昼 食

(12:10 ~ 13:00)

総 会

(13:00 ~ 13:15)

A会場 教育講演

(13:15 ~ 13:45)

座長：野坂 修一（森ノ宮医療大学保健医療学部 理学療法学科）

『漢方腎気概念の検討 - 漢方補腎薬抗サルコペニア効果の分子機序の解明』

大阪大学大学院医学系研究科 漢方医学寄附講座 萩原 圭祐

A会場 優秀賞ノミネート講演

(13:45 ~ 14:45)

座長：濱口 真輔（獨協医科大学医学部 麻酔科学講座）

N-1) 病態からみた片頭痛の漢方薬治療の考察

さっぽろ麻生クリニック 谷岡 富美男

N-2) 脳卒中患者の肩手症候群（反射性交感性ジストロフィー症）による腫脹、疼痛に対する

治打撲一方による治療効果

医療法人ひまわり会 札樽病院 リハビリテーション科

岡本 五十雄、多田 武夫、佐藤 正治、須藤 和昌、池田 康一郎

N-3) 癌性腹水再貯留における五苓散およびトリアムシノロンの効果の検討

日本生命済生会付属日生病院 麻酔・緩和医療科

川原 玲子、花田 留美、玉井 裕、山崎 恭子、奥野 聰子

N-4) 神経因性疼痛モデルラットに対する抑肝散の効果～加味逍遙散との比較検討～

昭和大学医学部 生理学講座生体制御学部門<sup>1)</sup>、東京都保健医療公社荏原病院 麻酔科<sup>2)</sup>

昭和大学医学部 麻酔科学講座<sup>3)</sup>、昭和大学医学部 東洋医学科<sup>4)</sup>

砂川 正隆<sup>1)</sup>、須賀 大樹<sup>1),2)</sup>、池本 英志<sup>1)</sup>、竹本 真理子<sup>3)</sup>、岡田 まゆみ<sup>3)</sup>

石野 尚吾<sup>4)</sup>、久光 正<sup>1)</sup>

N-5) 慢性頭痛に対する桂姜草棗黃辛附湯方意のエキス剤（麻黃附子細辛湯合安中散）の効果  
中島脳神経クリニック 中島 啓次

N-6) 終末期肺癌の苦痛緩和を目的とした麦門冬湯の使用経験  
大阪大学大学院医学系研究科 漢方医学寄附講座<sup>1)</sup>、星ヶ丘厚生年金病院 緩和ケア科<sup>2)</sup>  
森ノ宮医療大学保健医療学部 理学療法学科<sup>3)</sup>  
中西 美保<sup>1)</sup>、岸田 友紀<sup>1)</sup>、有光 潤介<sup>1)</sup>、塚原 悅子<sup>2)</sup>、紀 敦成<sup>2)</sup>  
野坂 修一<sup>3)</sup>、萩原 圭祐<sup>1)</sup>

休 憩

(14:45 ~ 15:00)

A会場 特別講演

(15:00 ~ 15:50)

座長：古家 仁（奈良県立医科大学附属病院）

『超高齢社会を乗り切る漢方の知恵』  
慶應義塾大学 環境情報学部/医学部兼任 渡辺 賢治

休 憩

(15:50 ~ 15:55)

A会場 一般講演 5《高齢者の痛み2》

(15:55 ~ 16:45)

座長：世良田 和幸（昭和大学横浜市北部病院）

A-13) 高齢で発症した身体表現性疼痛障害の下腹部痛に桂枝加芍薬湯、肛門部痛に理気剤（半夏厚朴湯）が有効であった一例

岡田クリニック<sup>1)</sup>、平田ペインクリニック<sup>2)</sup>  
岡田 誠<sup>1)</sup>、平田 道彦<sup>2)</sup>

A-14) 高齢者の慢性下痢に対して真武湯を処方したところ膝関節痛が改善した一例  
佐賀大学医学部附属病院 地域包括緩和ケア科<sup>1)</sup>、SAGAなんでも相談クリニック<sup>2)</sup>  
佐藤 英俊<sup>1)</sup>、福本 純雄<sup>2)</sup>

A-15) 腰部脊柱管狭窄症に対する術後残存下肢痛に真武湯が奏効した高齢者の治療経験  
獨協医科大学医学部 麻酔科学講座<sup>1)</sup>、那須赤十字病院<sup>2)</sup>  
寺島 哲二<sup>1)</sup>、濱口 真輔<sup>1)</sup>、木村 嘉之<sup>1)</sup>、沼田 祐貴<sup>1)</sup>、橋本 智貴<sup>1)</sup>、北島 敏光<sup>2)</sup>

A-16) 高齢女性患者の全身痛・しびれに対する漢方薬治療の経験  
沖縄県立中部病院 整形外科  
普天間 朝拓、池間 正英、上原 健志

A-17) 高齢者の痛みと漢方  
痛みの客観的評価方法としてサーモグラフィーを用いて  
橋本市民病院 外科 松浦 一郎

A会場 一般講演 6《体幹部・各種の痛み》  
座長：佐藤 英俊（佐賀大学医学部附属病院 地域包括緩和ケア科）

A-18) 理気剤（抑肝散）で改善した限局性強皮症による胸背部痛の1症例  
長崎大学医学部 麻酔学教室  
境 徹也、原 哲也

A-19) 冷えにより生じたと思われる季肋部痛に漢方処方が奏効した1症例  
福井県済生会病院 麻酔科<sup>1)</sup>、金沢医科大学 総合内科学<sup>2)</sup>  
竹内 健二<sup>1)</sup>、北村 倫子<sup>1)</sup>、伊佐田 哲朗<sup>1)</sup>、齋藤 律子<sup>1)</sup>、新江 聰<sup>1)</sup>  
守屋 純二<sup>2)</sup>、山川 淳一<sup>2)</sup>

A-20) 膣囊胞術後の背部痛に漢方治療が有用であった1例  
神奈川県立がんセンター 漢方サポートセンター 林 明宗

A-21) 加味逍遙散合補中益氣湯が奏効した肛門部痛の1例  
社会保険仲原病院 麻酔科・ペインクリニック 上村 裕平

A-22) オピオイドローテーションの際の退薬症候に対する漢方薬投与の試み  
帝京大学医学部 麻酔科学講座<sup>1)</sup>、東京大学医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター<sup>2)</sup>  
関山 裕詩<sup>1)</sup>、山田 芳嗣<sup>2)</sup>、澤村 成史<sup>1)</sup>

A-23) 芍薬甘草湯の代替薬としての小建中湯の使用経験（続報）  
那須赤十字病院 整形外科 吉田 祐文

B 会場 一般講演 7 《頭頸部痛》 (15:55 ~ 16:45)  
座長：平川 奈緒美（佐賀大学医学部 麻酔・蘇生学）

B-12) 外傷性頸部症候群の経過中に難治性頭痛を合併した症例の漢方治療経験  
済生会川内病院 麻酔科<sup>1)</sup>、平田ペインクリニック<sup>2)</sup>  
園田 拓郎<sup>1)</sup>、平田 道彦<sup>2)</sup>

B-13) 外傷性頸部症候群3ヵ月経過後の“めまい・頭頸部痛他”への漢方薬4ヵ月弱投与と、  
のち主に理学療法で略治した、51歳女性の経過をめぐって  
吉峰病院<sup>1)</sup>、前原病院<sup>2)</sup>、宮野病院<sup>3)</sup>  
高口 真一郎<sup>1)</sup>、前原 敬悟<sup>2)</sup>、宮野 恭匡<sup>3)</sup>

B-14) 思春期の頭頸部痛に対する柴胡剤（四逆散）の効用  
せんだい耳鼻咽喉科 内薦 明裕

B-15) もし形成外科医が治打撲一方を使ったら  
兵庫県立尼崎病院 形成外科 梅原 康次

B-16) 放射線照射による食道炎・喉頭炎による痛みに対して桔梗湯が有用であった症例  
大阪警察病院 麻酔科  
井上 潤一、田中 ふみ

優秀賞表彰式 (17:45 ~ 17:55)

閉会の挨拶 (17:55 ~ 18:00)  
会長：古家 仁（奈良県立医科大学附属病院）

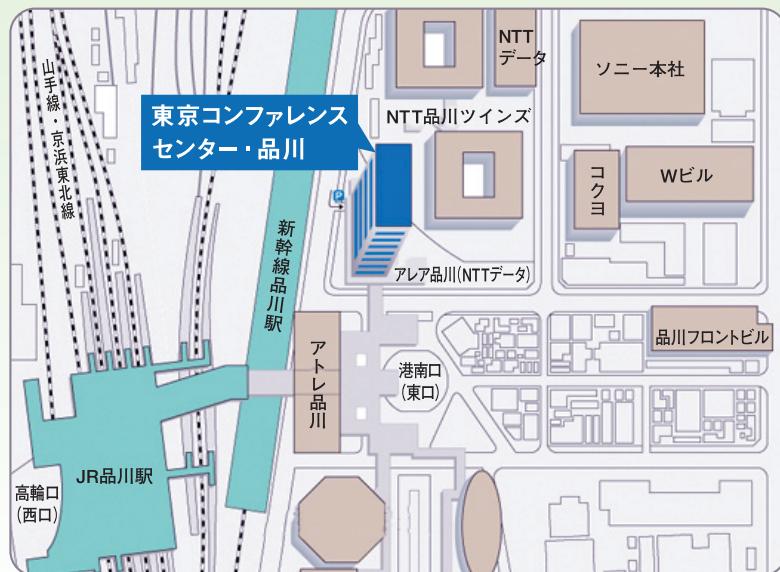


## 会場案内

### 東京コンファレンスセンター・品川

東京都港区港南 1-9-36 アレア品川

TEL 03-6717-7000



## アクセス

● JR 品川駅港南口 (東口) より徒歩2分

### ●羽田空港から

羽田空港→品川 (京浜急行利用) 約20分

### ●東京駅から

東京→品川 (JR 利用) 10分

## 連絡先：

第27回日本疼痛漢方研究会学術集会共催事務局

〒 107-8521 東京都港区赤坂2丁目17番11号

株式会社ツムラ 学術企画部内

TEL 03-6361-7187 FAX 03-5574-6668

### \*緊急連絡先

TEL 03-5418-7773 <7/4 (金)17:00~7/5 (土)8:00>

当日 8:00 以降は、直接会場にご連絡ください。